

平成29年度防災教育・復興教育推進事業（いわての復興教育スクール）成果報告書

教育委員会名：久慈市教育委員会

I 事業の概要（地域の実情含む）

- ・東日本大震災や平成28年8月に発生した台風10号により久慈地域がどのような被害を受けたのかを再確認しながら、防災や減災のための方策について学習する。
- ・津波及び台風等により発生する土砂災害の危険性を学習し、学区内の土砂災害等が起こりうる地域を知り、状況・天候によってどのように避難することが安全であるかを理解する。
- ・久慈市や近隣の町村の復興や産業に関する学習を通じて、自分の生き方について考える。

II 取組の概要

- 1 久慈市立久慈小学校の具体的な取組
 - ・第1回避難訓練（火災を想定）
 - ・非常時における連絡体制等の確認
 - ・第2回避難訓練（大津波を想定 引き渡し訓練）
 - ・いわての復興教育スクール担当者会議
 - ・県北広域振興局による「津波防災講座」
 - ・第3回避難訓練（不審者侵入を想定）
 - ・学校防災アドバイザー派遣事業「過去の災害や今後の児童の指導の在り方について」「震災・津波・気象災害等について」と題して岩手県教育委員会澤口主任指導主事と地域防災サポーター三船進一さんを講師としてご講義いただいた。
 - ・第4回避難訓練（地震と津波を想定）
 - ・久慈小ハザードマップ作成
 - ・地域防災推進委員会（盛岡地方気象台の職員による防災気象情報の活用についての講話）
 - ・第5回避難訓練（地震 予告なしで実施）
 - ・「ぼくたちわたしたち ぼうさい探検隊！」発表
※地域の復興の状況や防災・減災についての調べ学習の発表会
 - ・第3回地域防災推進委員会
- 2 久慈市立久慈中学校の具体的な取組
 - ・危機管理マニュアルの再確認（職員）
 - ・東京都大田区立大森第六中学校との交流会（3年生 修学旅行）
 - ・第1回避難訓練（地震と津波を想定）
 - ・矢巾北中学校との交流会（2年生 宿泊学習）
 - ・いわての復興教育スクール担当者会議

- ・地域医療人材育成事業に係る出前講座（2年生）
- ・学校危機管理マニュアルの見直し（担当者）
- ・職業講演会（2年生）
- ・道徳の授業（2年生）「震災の中で」【勤労、社会への奉仕、公共の福祉】
- ・道徳の授業（2年生）「祭りの夜」【郷土を愛する心】
- ・第2回避難訓練（全校生徒）
- ・「地域ではたらく人から学ぶ」職場体験学習（2年生）
- ・地域防災推進委員会
- ・防災マップ作り（1年生）
- ・アンビシャス講演会①（3年生）
※「ありがとう」という演題で郷土を想い、自分の将来を考える講演会
- ・防災マップ発表会（1年生）
- ・職場体験学習発表会（2年生）
- ・久慈市の過去の災害から避難の在り方について
※学校防災アドバイザー派遣事業により地域防災サポーター三船進一さんを講師とし、職員への講演会を行った。
- ・地域防災推進委員会
- ・防災講演会（1年生）

III 取組の成果と課題

- 1 取組の成果
[久慈市立久慈小学校]
 - ・児童が実際に東日本大震災の被災地に足を運び、専門家のお話を伺うことで、防災についての関心を高めることができた。また、見学をしたり自分達で調べ学習をしてマップにまとめたりすることを通して、防災について深く考え、これからの生活に生かそうと考えることができた。防災について、自分事として考えることができた。
 - ・教職員にとっては過去の災害の状況を知ることで、学校のある地域の危険性や防災の必要性を改めて考えることができた。
 - ・気象庁から出されている「風と雨の階級表」を掲示したり、防災ハザードマップ上に児童の家を記した「久慈小ハザードマップ」を作成したりしたことで、注意報や警報発令時の行動に生かすことができた。

- ・久慈中学校、久慈東高校と連携し、避難訓練の様子を参観し合ったり、災害発生時の対応について確認し合ったりすることで、共通して行えることや成長段階による指導内容の違いなど参考になることがたくさんあった。

[久慈市立久慈中学校]

- ・2年生の宿泊研修や3年生の修学旅行で行った復興・防災学習の発表は、自分たちの地域の災害や防災について改めて確認することができ、沿岸地域の特徴について伝えることができた。
- ・今年度1回目に実施した避難訓練は「いきる・かかわる・そなえる」の副読本を活用し事前学習を行ったことで、災害時の行動についてイメージを持って訓練に臨むことができた。また、その後の避難訓練でも授業外での災害発生を想定し、生徒が自分の判断で避難する訓練を行ったことは生徒の主体的な行動を育成し、実質的な行動訓練となった。
- ・1年生で行った「防災マップ作り」では、自宅付近の津波や水害のハザードマップを作成し、学年で共有することで地域全体の危険な場所を確認することができた。また、久慈東高校との交流で取り組んだ「避難所運営ゲームHUG」や「災害時の非常食持ち出し防災キット作成」では、高校生を先生として災害時の対応について専門的な話を聞き、学習を深めることができた。防災学習のまとめとして、久慈地下水族科学館もぐらんびあの館長による講演会も東日本大震災を風化させない生徒にとって貴重な講演となった。
- ・2年生で行った「地域医療人材育成事業に係る出前講座」、「職業講演会」、「職場体験学習」では地域で働く方々から職業に関わる話だけでなく、地域への想いを聞くことで地域とのかかわりを深めることができた。
- ・3年生で行ったアンビシャス講演会では、講師の先生方から郷土久慈への想いを直接聞くことができる貴重な講演会となった。生徒は久慈の良さや課題を実感することができた。

2 取組の課題

[久慈市立久慈小学校]

- ・全職員が関わりながら危機管理マニュアルの見直しを図り、実践的なマニュアル作りに取り組んでいく。
- ・久慈中学校と久慈東高校との連携を更に強め、家庭や地域と連携した取り組みを工夫していく。
- ・単年度で取り組みを終えるのではなく、継続的に児童の防災学習や職員の防災に関する研修を進めて

いく。

[久慈市立久慈中学校]

- ・今年度、学年ごとに復興防災学習を重点に総合的な学習の時間で学習を進めたことは大きな成果があった。
- ・年度当初の計画以上に時間のかかる取組もあり来年度以降、継続して取り組むためにも内容を精選し、3年間の見通しを持った学習計画を立てる必要がある。